

## 平成 30 年度第 2 回下野市社会教育委員会 議事録（要旨）

日 時 平成 30 年 10 月 4 日（木）9 時 00 分～12 時 00 分  
場 所 下野市役所 304 会議室  
出 席 者 委員長 五月女 洪  
副委員長 花澤 公久  
委 員 鈴木 一恵、坂口 修、齋藤 昌枝、青木 ムツミ  
橋本 眞差子、今村 陽子、大塩 宗里、菅井 貞雄  
欠 席 者 委 員 川島 光博、大垣 玉枝、桑島 礼二  
市側出席者 教育長 池澤 勤  
生涯学習文化課長 手塚 芳子  
生涯学習推進グループ 主幹 大門 啓美  
主査 漆原 聡  
主事 松岡 貴之

公開・非公開の別（公開・一部公開・非公開）

傍 聴 人 1 人

報道機関 0 人

議事録（概要）作成年月日 平成 30 年 10 月 5 日

### 議 案

- （1）（仮）地域学校協働活動の具体的取り組みについて  
～地域の教育力の向上と地域における学校との協働体制の在り方について～
- ① 地域学校協働活動とは
  - ② 下野市の取り組み状況
  - ③ 地域学校協働活動推進を図るための方策について（グループワーク）
    - （ア） 地域学校協働活動への地域住民等の参画促進・活動の質の向上に向けた理解促進活動
    - （イ） 地域コーディネーター等人材の育成・配置、研修やネットワーク化の促進
    - （ウ） 市生涯学習情報センターボランティアバンクの活用

池澤教育長	あいさつ
五月女委員長	議題に沿って進める。第1回目の社会教育委員会議で今年度テーマについて話し合い、「地域学校協働活動の具体的取り組み」ということでやっていくこととなった。まず事務局から「① 地域学校協働活動とは」「② 下野市の取り組み状況について」説明を受け、「③ 地域学校協働活動推進を図るための方策について」グループワークを行う。事務局より①、②について説明を求める。
事務局	資料に基づき説明
五月女委員長	何か質問はあるか。
全委員	《質問など無し》
五月女委員長	地域の人材の教育力を高め、それを学校教育と如何にリンクしていくかが課題になると思う。これから「③ 地域学校協働活動推進を図るための方策について」として議題（ア）～（ウ）についてグループで話し合っていきたいがよろしいか。
全委員	《異議なし》
五月女委員長	議題（ア）「地域学校協働活動への地域住民等の参画促進・活動の質の向上に向けた理解促進活動」についてだが、地域住民の方々に如何に協力してもらって、学校を支援してもらうかを話し合ってもらおう。例えば、老人会や退職した教職員、歴史などに堪能な方がいればどう携わってもらおうか。人材の発掘なども（ア）のテーマとなる。
	議題（イ）「地域コーディネーター等人材の育成・配置、研修やネットワーク化の促進」についてだが、現在、地域学校協働活動推進員が各中学校区に配置されている。例えば南河内公民館の社会教育指導員が南河内中学校区の推進員を兼ねている。例えば国分寺中学校区にいらっしゃる方でそういったことに長けている方がいれば、それを石橋地区とか南河内地区に活動の場を提供・調整をするコーディネーターを如何に育成して、研修やネットワークづくりをしていくかが（イ）のテーマとなる。
	（ウ）「市生涯学習情報センターボランティアバンクの活用」についてだが、登録されている多くの方を如何に各学校の教育支援に活かせるかということについて話し合っていきたい。
事務局	ではグループワークを始める。展開例、シート作成例に基づきワークショップの進め方を説明。
齋藤委員	議題（ア）について質問がある。地域学校協働活動をやっている中での課題はあるのか。
事務局	学校側の窓口となっている教員も授業が多く、スケジュール調整が大変であるという意見がある。
齋藤委員	子どもの安全確保についても言及すべきか。
事務局	そういったことも踏まえて自由に意見を出してもらいたい。
	出席委員に2つのグループに分かれてもらいグループ協議 Aグループ：五月女委員長、鈴木委員、齋藤委員、橋本委員、大塩委員

事務局	<p>Bグループ：花澤副委員長、坂口委員、青木委員、今村委員、菅井委員</p> <p>議題（ア）「地域学校協働活動への地域住民等の参画促進・活動の質の向上に向けた理解促進活動」についてワーク&amp;発表</p> <p>Aグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人が学校に入りやすくする</li> <li>・学校のカリキュラムと支援者とのマッチングのずれの修正</li> <li>・学校ごとの教育方針を明確にする。⇒支援者との意識の統一</li> <li>・学校への人員加配（活動の安全確保、地域住民への対応）</li> </ul> <p>Bグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が地域の力を求めていることを強く発信する</li> <li>・学校を地域に向けて広く発信する⇒学校便りや行事案内を回覧</li> <li>・地域行事を学校に対してアピールする。</li> </ul> <p>議題（イ）「地域コーディネーター等人材の育成・配置、研修やネットワーク化の促進」についてワーク&amp;発表</p> <p>Aグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校担当者とコーディネーターの信頼づくり ⇒懇親会の開催、コーディネーターの積極的な学校訪問</li> <li>・自治会やPTA、老人クラブとの連携</li> </ul> <p>Bグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校担当者とコーディネーターの接点を増やす ⇒情報交換の機会を設ける</li> </ul> <p>議題（ウ）「市生涯学習情報センターボランティアバンクの活用」についてワーク&amp;発表</p> <p>Aグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの情報を全てセンターに一元化し、窓口を一本化する。</li> <li>・ボランティアの方についての積極的な情報公開</li> <li>・登録ボランティアの方とのコミュニケーション ⇒必要時期の説明、依頼が無かった時のフォロー</li> </ul> <p>Bグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校から授業で必要としている人材を伝えておく</li> <li>・センターは学校の要望と登録ボランティア各自の技量を把握する。</li> </ul> <p>本日、発表いただいたものは事務局でまとめ、次回の会議で報告する。次回は来年2月12日（火）9時半からということでお願いする 人権教育講演会について説明。 その他が終了した。以上で閉会とする。</p>
-----	---